

R 4 年 度 古 典 B （ 3 学 年 ） の シ ラ バ ス

校 長		教 頭	
--------	--	--------	--

科目	古典 B	単位	2	学年	3	金城仁美 喜友名奈利子 照屋賀代子 島田聖子 当間真知子 古堅裕之
使用教科書	高等学校 古典 B 改訂版(三省堂)			副教材	古典 B 学習課題ノート	

学習の到達目標	古典としての古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 関心・意欲・態度	b. 読む能力	c. 知識・理解
古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

時数	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法
10	枕草子 「二月つごもりごろに」	- 随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 - 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 - 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
4	「不顧後患」	- 比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 - 基本的な句法・語法を理解する。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
2	言語活動 貴族の呼び名一官階と位階一	- 解説を読んで、古典に表れる官職名や呼称に関心を持つ。 - 課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 - 副教材や古語辞典・図書館の資料などを主体的に利用する。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 課題の提出
10	大鏡	- 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 - 戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 - 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 「作文」と「和歌」との比較から、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
9	三国志の世界	- 訓読によって話のあらすじを把握できるようにする。 - 登場人物の心情がどのように表現されているかを理解する。 - 反語・疑問・限定・仮定・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 - 漢文独特の誇張表現のおもしろさを理解する。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
10	蜻蛉日記	- 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 - 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 - 助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
3	言語活動 平安朝の結婚	- 古典に表れる貴族の結婚形態に関心を持つ。 - 大枠の課題の中から自ら課題をしばらくこんで調べる。 - 調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 - 副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 課題の提出

8	思想と寓話	・寓話を通して中国の主要な思想の主張の概要を理解する。 ・それぞれの思想の違いを理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・比較・疑問・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・ノートの提出 ・課題の提出 ・定期考査
5	無名抄	・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・謙譲語「給ふ」について理解する。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3	言語活動 『徒然草』との読み 比べ	・評論の対象となった文章と評論とを読み比べ、作者の考えについてまとめる。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題の提出
4	漢詩の鑑賞	・漢詩のさまざまな描写に接し、内容を的確に捉える。 ・古体詩について、近体詩と比較しながら理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・仮定・疑問・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・ノートの提出 ・定期考査
2	言語活動 『源氏物語』と『長 恨歌』	・参考資料を読んで、『源氏物語』『桐壺巻』『更級日記』と「長恨歌」について関心を持つ。 ・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料・インターネットなどを主体的に利用する。 ・中国文学と日本文学の関わりについて考える。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノートの提出 ・課題の提出 ・実習レポート